

(C1)  
(C2)—2025—

基礎能力
------

## 試験問題

### 注意事項

1. 問題は **30 題(36 ページ)**で、解答時間は **2 時間 20 分**です。
2. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
3. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
4. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	受験番号	氏名
--------	------	----

**指示があるまで中を開いてはいけません。**

【No. 1】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

科学が真理を与えてくれるということは、誰しも期待することであるし、実際、学校教育で教わる理科の内容は、ほぼ真理といってよいのだろう。それに対して、実際の研究活動の現場では、さまざまな説が新たな実験や観察によって検討され、何が正しいことなのかを議論している。科学研究の先端では、ひとまず確定した知識とそれほど確実でない知識が混在し、何が正しいことなのかを判断する作業が続けられている。そのため、私は「科学は未来に真理がある」と表現することになっている。これは現在の科学知識が間違いだらけだということではなく、知識それぞれに、どういう根拠でその知識が得られたのかという信頼度の違いがあること、それでも、新たな発見によって今までの常識が覆される可能性が常にあることを認めなければ、科学とはつきあえないということの意味している。科学の本質には、既存の知識や実験結果を批判的に吟味する営みがあるということである。

これに対して、技術では、既存のできるだけ確実そうな知識を埋め込んで、ものをつくる。何か使えるものができなければならない。その場合、科学知識だけでなく、数学や心理学などのさまざまな知識も動員される。もちろん経済性も重要な指標となる。道具の使いやすさには、色や形が与える心理的効果なども大切だろう。技術という言葉を少し広く考えれば、具体的な物体を作る場合に限らず、現状を分析してそこで起きていることを分析することなど、景気分析のような理論的なものもありうる。現状分析に基づいて将来を予測する天気予報のようなものもある。普通は技術と言わないかもしれないが、医療でも、目の前の患者の病態を総合的に判断して、原因をつきとめ、必要な治療を施す。機械の故障が起きたときに、原因を特定して対処するのと似ているのだが、本質的に異なるのは、機械は人間が設計したもので、基本的にはその動作原理がはっきりしているため、故障に対してもほぼ確実な原因がわかる点だ。もちろん全く未知の現象が発生している可能性も否定はできないが。それに対して、人体のしくみは、どれだけ医学研究が進んでも、科学知識として依然わからない部分が残るので、病気の原因を特定することも容易ではない。感染症ならば外来性因子が原因なのはわかっているようだが、病原体が特定されても、実際の病状を改善するにはさまざまなノウハウが必要で、その部分は科学というよりも経験に基づく技術の面が大きい。がんに関しても、「何がん」という種類は特定できるようになったが、それを治療するには抗がん剤や放射線をはじめとしてあらゆる手段が動員される。これは多分に経験的な技術の領域である。そもそも一人ひとりの病態がすべて異なるわけなので、一般的な知識だけで対処できるはずがなく、付加的なノウハウが必要になる。

1. 実際の研究活動の現場では、ひとまず確定した知識とそれほど確実でない知識を混同することなく、確定した知識のみを用いて真理の検証を行っている。
2. 科学の本質には、実験結果などにすぐ左右されることなく吟味する営みがあり、科学とつきあうためには、新たな発見により常識が覆る可能性があることを認める必要がある。
3. ものをつくる上では、道具の使いやすさに重点が置かれるため、科学知識よりも経験に基づいた分析や予測を行う必要がある。
4. 機械は、人間が設計したもので動作原理がはっきりしているため、故障の原因を一つに特定できるが、病気は、複数の原因が関係しているため、病態を総合的に判断する必要がある。
5. 医療においては、病気の原因を特定することが容易ではない上に、個々人で病態が異なるため、病原体の特定から病状の改善に至るまで、経験に基づく技術でしか対処できない。

【No. 2】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

1990年代初頭までのリゾート開発を中心とする「地域活性化」の反省の中で論じられたのが、「地域づくり」である。これは「まちづくり」「むらづくり」として、多様に使われている言葉であり、すでに80年代初頭から徐々に使用されていた。しかし、独自の意味で語られはじめたのは、特にバブル崩壊後の90年代前半以降である。

ここには、リゾート開発主導の「地域活性化」との対比で、少なくとも次の三つの含意がある。

第一に、地域振興の「内発性」である。大規模リゾート開発は、「拠点開発方式」と同様に二重の意味で外来型の開発であった。ひとつは、外部資本による開発であった点である。ふたつは、そうであるがゆえに、地域住民の意思とは無縁の開発であった点である。つまり、カネも意思も外部から注入されたものであり、地域の住民は土地や労働力の提供者、場合によっては開発の陳情者にしか過ぎないものであった。そうではなく、自らの意思で地域住民が立ち上がるというプロセスを持つ取り組みこそ「地域づくり」であることが、この言葉では強調されている。

第二に、「総合性・多様性」である。リゾートブームの下では、都市で発生したバブル経済がそのまま持ち込まれ、経済的利得の獲得に著しく傾斜した地域活性化が意識された。また、どの地域でも同じような開発計画がならぶという「金太郎アメ」型の地域振興もこの時期の特徴であった。そのような状況からの脱却、つまり単品型・画一的な地域活性化から、福祉や環境を含めた総合性、そして地域の実情を踏まえた多様性に富んだ地域づくりへの転換が求められた。地域づくりでは、基盤となる地域資源や地域を構成する人のあり方に応じて、地域の数だけ多様な発展パターンがあることが強調されている。それは、「モデルなき地域づくり」と表現されることもある。

そして、第三に、「革新性」である。すべての地域振興は、地域における何らかの困難性が前提となっている。それを地域の内発的エネルギーにより克服していくとなれば、必然的に従来とは異なる新たな仕組みを内部につくり出すことが求められる。一部の農山村では過去の賑やかな時代の仕組みに寄りかかり、それが機能しないことを嘆くことがしばしば見られた。しかし、人口はやはり減少する。そのことを前提とした対応が欠かせない。そこで求められるのは、人口がより少ない状況を想定し、地域運営の仕組みを地域自らが再編し、新しいシステムを創造する「革新性」である。その意味での「地域づくり」は「地域の新しい仕組みづくり」である。

以上のように、1990年代から登場する「地域づくり」には、「内発性」「総合性・多様性」「革新性」という要素が、多かれ少なかれ含まれている。それは、地域づくりの原則としての「内発性」、その中身の「総合性・多様性」、そしてその仕組みとしての「革新性」と位置づけることができよう。

1. リゾート開発主導の反省から、「地域活性化」に「内発性」「総合性・多様性」「革新性」という要素を加えながら、「地域づくり」は、「まちづくり」「むらづくり」に進化していった。
2. 地域づくりの「内発性」とは、外部資本に依存した開発から脱却し、地域住民が自らの意思で外部からカネを獲得するプロセスを強調したものである。
3. 地域資源や地域住民のあり方に応じた多様性のある地域づくりのため、それぞれの地域に応用できるような総合的な開発計画が示されるようになった。
4. 地域に内在する困難性を克服していくには、地域自らが地域運営のシステムを新たに創造していく「革新性」が求められる。
5. 1990年代以降の「地域づくり」は、それまで等しく重要視されてきた「内発性」「総合性・多様性」「革新性」のうち、特に「内発性」に着目して進められてきた。

【No. 3】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

ところで、結果の現前と過程の進行とを隔てるものは、本質的には時間意識の有無である。あらゆる表象作用は行為であり、行為であるかぎりにおいてそれは時間のうちに囚われている。具体的に言えば、詩人が或る言葉を書きつけてから次の言葉を書きつけるまで、作曲家が五線譜に或る音符を置いてから次の音符を置くまでには、いかに微小であれ何がしかの時間が流れないわけにはいかない。絵画や彫刻のように、その全体が享受者のまなざしの前に一挙に現前している空間的な「作品」の場合ですら、創造の現場においては、画家が一つの筆触をキャンバスに置いた瞬間とまた別の筆触を置いた瞬間との間に、それがいかに短かろうと或る時間が経過しないわけにはいかないものであり、それら時間経過の積分化された総体が作者の労働量を表わし、また場合によってはそれがそのまま「作品」の交換価値を表象するパラメーターの一つになることもありうるわけだ。

ただし、そのように数量化された単位時間の集積が、行為の現場で体験される時間とまったく別のものであることは言うまでもない。作り手の作業が単に既成の手順に従い、そこからはみ出すことなく進行する場合、時間の流れかたのすべてはあらかじめ予見可能なものとなる。ここまでが何分、何時間、さらにはそこまでが何時間、何日、だから全体が仕上がるのは何日後、ないし何週間後、ないし何か月後、というあらかじめの見積もりが可能になり、その予定表に寄り添って均質な物理時間が流れてゆく。言うまでもあるまいが、こうした「計画可能性」の時空には、どれほど多くの労働量が投入され、どれほどの長年月が費やされようと、創造的なものは何もない。「創造」を、ここではベルクソンに従って、新しい「質」を出現させる行為と理解しておくことにする。決まりきった手順で「量」が集積されてゆくかぎりは、それに対応する割合でやはり同様に「量」としての計測可能な時間が経過してゆくばかりだ。それに対して、新たな未知の「質」の出現という出来事の場合、たとえその出来事もまた時間の内部に囚われているのは疑いようもないにせよ、その時間とは均質化された単位時間の集積のことでは決してない。それは投げどころにすべき基準のないまま下される盲目的な決断の時間であり、前方の着地点に何が待っているのか知らぬまま、いやそもそも、踏みしめられる地面がそこにあるのかどうかさえわからぬまま踏みきられる跳躍の時間である。今ここに存在することと、今しも今になろうとしているものの到来との間に介在する、決して数量化されえない宙吊り状態の持続と反復こそが、創造の時間なのである。

1. 絵画や彫刻は完成した結果を静的に考察するものであり、詩や音楽は創造行為の現場を追体験するものであるから、この両者を隔てるものは本質的には時間意識の有無である。
2. 創造の現場においては、創造行為に費やされた時間経過の積分化された総体が、作者の労働量を表し、作品の交換価値を表象する唯一のパラメーターである。
3. 作り手の作業が予見可能なものである場合は、多くの労働量が投入され、長い年月が費やされようとも、そこに創造的なものはないといえる。
4. 創造を新しい「質」を出現させる行為と理解した場合でも、その行為の時間を均質化された単位時間の集積として捉えることは可能である。
5. 創造の時間とは、作品が完成した時点と作品に対する振り返りとの間に介在する、決して数量化されえない宙吊り状態の持続と反復のことである。

【No. 4】 次の文の  に当てはまるものとして最も妥当なのはどれか。

言語学あるいは言語学者が、ことばに文法があると考えときの文法は、その言語が提供している表現の可能性であるとする。つまり何が言い得るか、表現のためにどのような自由が提供されているかというふうを考える。いわゆる文法的な誤りは、その時点では誤りであるとしても、いずれは誤りではなくなるかもしれない(誤りを作るのは規範であるからだ)。なぜか、誤りは、もしそれが誤りであっても理解できるならば、体系の可能性のなかであらわれた誤りであるからだ。誤りだとわかるのは、それが理解できるということの何よりの証拠である。

しかし、国家が学校を作ってそこで教えるようになった文法は禁止の体系である。文法は法典であり、規則であり、そこに指定された以外の可能性をぬりつぶしていく言語警察制度を自らのなかに作りあげる作業である。したがって、このような精神のはたらきが、創作のいとなみとは真反対のところにあることはすぐに理解できる。アンドレ・マルチネは、「文法家どもがことばを殺す」というはげしい題名の論文を書いている。

俗語が国家の手によって国語にされたとき、そこに作り出される文法は、もはや、ことばを扱いつつながらことばとは別の、作法や儀礼の書物に一步近づいている。そこでは、おのずと生れ、内から湧き出てくることばが、「話し手の介入を許さぬ」「すでにできあがった」「国のことば」として「文法によって与えられる」ものへと造りかえられる。文法教育とは、権威によって母語をおどしつけ、自らのところでものを言わせないようにし、ことばを書くということは、自分の外の、なにか決められたものによってしかおこなえないと思込ませるしつけのことである。

この過程のなかで、「文法」は不可欠の位置を占めている。すなわち、母語の文法はことばそのもののために必要なのではなく、国家とその付属設備である学校と教師のために要求されるのである。

たえず変化することによって、新しい歴史的状況(意識の変化)に適応していこうとすることばの性質に反して、文法とは、真の意味におけることばでないことばを作る作業であることがわかる。すなわち、文法はその本性において、 道具である。ことばは現実であるのに対して文法は観念であり規範である。

1. ことばの外に立ってことばを支配する
2. 独創的な表現を編み出すことを後押しする
3. ことばを乱す文法家たちからことばを守るための
4. 内から湧き出ることばを、自らのところのままに書くための
5. ある言語における表現の可能性をはかる

【No. 5】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係のため、掲載できません。

- 
1. 最新の研究で、ボトルウォーターの中には、人間の髪の毛の直径程度の小さなマイクロプラスチックが1リットル当たり約300個含まれていることが判明した。
  2. 世界保健機関は、ナノプラスチックは、マイクロプラスチックと異なり、粒子が大きく体内に入っても自然に排出されるので、毒性はないとの見解を示している。
  3. 世界保健機関は、ボトルウォーターに含まれているマイクロプラスチックの潜在的な危険性の一つは、マイクロプラスチックに付着する微生物であると述べている。
  4. 米国食品医薬品局(FDA)は、今回のマイクロプラスチックに関する研究報告を受けて、消費者に対してボトルウォーターの飲用回数を減らすよう勧告した。
  5. 国際ボトルウォーター協会は、FDAと協力して、ボトルウォーターからマイクロプラスチックを除去するために、製造や輸送などの各工程におけるガイドラインを新たに作成した。

【No. 6】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係のため、掲載できません。

- 
1. NASA は、アルテミス計画のために、300 度の温度に耐えられるタイヤなどを備えた次世代の月面車の開発に、現役の宇宙飛行士を参加させることにした。
  2. アルテミス計画では、月面観光の移動手段を確保するため、月旅行の参加者に対して月面探査車(LTV)を提供する予定である。
  3. 最後の三つのアポロ計画では、探索範囲を広げるためにそれぞれ月面車が導入されたが、これらの月面車はいずれも宇宙飛行士を乗せて移動することはできなかった。
  4. Pete McGrath 氏は、アルテミス計画の月の南極における探査には、小型で軽量の使い捨ての探査車が有効であると述べている。
  5. LTV は、アポロ計画時代の月面車と、火星探査車を組み合わせたようなものであり、宇宙飛行士の到着前に前哨基地などを建設することも期待されている。

【No. 7】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

The oldest wine ever to have been discovered in its original liquid form is reddish-brown<sup>\*1</sup> and, quite conceivably, full-bodied. Reddish-brown because of the chemical reactions that have taken place in the 2,000 years since the white wine was poured into a funeral urn<sup>\*2</sup> in southern Spain — and potentially full-bodied because the urn also contained, among other things, the cremated<sup>\*3</sup> bones of a Roman man.

Analysis by experts at the University of Córdoba has established that the ancient tawny liquid inside the urn — which was found in a rare, untouched Roman tomb that was accidentally discovered in the Andalusian town of Carmona five years ago — is a local, sherry-like wine.

Prior to the discovery, which is reported in the *Journal of Archaeological Science: Reports*, the oldest wine preserved in a liquid state was the Speyer wine bottle, which was excavated from a Roman tomb near the German city of Speyer in 1867 and dated to about AD 325. The Spanish urn was recovered in 2019 after a family having some work done on their house in Carmona stumbled across a sunken tomb on their property. “It’s a sunken tomb that was excavated from the rock, which allowed it to remain standing for 2,000 years,” said José Rafael Ruiz Arrebola, an organic chemist at the University of Córdoba who led the analysis of the wine.

《中 略》

“The urn also contained the cremated bones of a man and a gold ring decorated with a two-headed Janus. It was put in afterwards and the dead man wasn’t wearing it when he was cremated. There were also what could be the metal feet of the bed on which the body was cremated.”

Once Ruiz Arrebola and his team had established that the five or so litres of reddish liquid in the glass flask inside the urn hadn’t come from condensation or flooding, they set about analysing it. Tests showed it had a PH of 7.5 — close to that of water — and contained chemical elements very similar to those in today’s wines.

“We looked for biomarkers, which are chemical compounds that unequivocally tell you what a particular substance is,” said the chemist. “In this case, we looked for polyphenols exclusively from wine — and we found seven wine polyphenols. We compared those polyphenols with those from wines from this part of Andalucía — and they matched. So that confirmed it was wine. The next thing to do was to establish whether it was a white wine or a red wine.”

The lack of syringic acid, which forms when the main pigment in red wines decomposes, pointed clearly to a white wine — as did the local Roman mosaics showing people trampling

white grapes.

(注) \*<sup>1</sup> reddish-brown : 赤茶色の \*<sup>2</sup> urn : 骨壺 \*<sup>3</sup> cremate : 火葬する

1. Ruiz Arrebola 氏は、ローマ帝国の時代に食糧庫や墓地として使用されていた場所を予測して発掘したところ、骨壺に入った世界最古のワインを発見した。
2. スペインでは、19 世紀後半に世界最古のワインが発見されていたが、今回発見されたワインは、そのワインよりも更に 100 年ほど古いワインであることが判明した。
3. 身に着けたまま火葬されたため燃焼の痕跡が残る金の指輪は、骨壺とは別の場所に置かれていたガラス製のワインボトルの中から発見された。
4. 今回発見された液体に含まれるポリフェノール成分が、アンダルシア地方のワインに含まれるポリフェノール成分と一致したため、その液体がワインであることが判明した。
5. 今回発見されたワインは、当初赤ワインだと考えられていたが、同時に発見されたローマ時代の古文書の記述を解読した結果、赤茶色に着色された珍しい白ワインであることが判明した。

【No. 8】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

As artificial intelligence programs shake up the office, potentially making millions of jobs obsolete<sup>\*1</sup>, one group of perpetually stressed workers seems especially vulnerable.

These employees analyze new markets and discern trends, both tasks a computer could do more efficiently. They spend much of their time communicating with colleagues, a laborious activity that is being automated with voice and image generators. Sometimes they must make difficult decisions — and who is better at being dispassionate than a machine?

Finally, these jobs are very well paid, which means the cost savings of eliminating them is considerable.

The chief executive is increasingly imperiled<sup>\*2</sup> by A.I., just like the writer of news releases and the customer service representative. Dark factories, which are entirely automated, may soon have a counterpart at the top of the corporation: dark suites.

This is not just a prediction. A few successful companies have begun to publicly experiment with the notion of an A.I. leader, even if at the moment it might largely be a branding exercise.

A.I. has been hyped<sup>\*3</sup> as the solution to all corporate problems for about 18 months now, ever since OpenAI rolled out ChatGPT in November 2022. Silicon Valley put \$29 billion last year into generative A.I. and is selling it hard. Even in its current rudimentary<sup>\*4</sup> form, A.I. that mimics human reasoning is finding a foothold among distressed companies with little to lose and lacking strong leadership.

“In struggling companies, you’ll be replacing operational management first but probably keep a few humans to think beyond the machines,” said Saul J. Berman, a former senior consulting partner with IBM. Overall, he said, “the change delivered by A.I. in corporations will be as great or greater at the higher strategic levels of management as the lower ranks.”

Chief executives themselves seem enthusiastic about the prospect — or maybe just fatalistic.

EdX, the online learning platform created by administrators at Harvard and M.I.T. that is now a part of publicly traded 2U Inc., surveyed hundreds of chief executives and other executives last summer about the issue. Respondents were invited to take part and given what edX called “a small monetary incentive” to do so.

The response was striking. Nearly half — 47 percent — of the executives surveyed said they believed “most” or “all” of the chief executive role should be completely automated or replaced by A.I. Even executives believe executives are superfluous in the late digital age.

(注) \*<sup>1</sup> obsolete：時代遅れの      \*<sup>2</sup> imperil：危うくする、危機にさらす  
\*<sup>3</sup> hype：誇大に宣伝する      \*<sup>4</sup> rudimentary：初歩的な

1. トrendを見極めたり、難しい決断を下すなど、冷静さが求められる場面では、AIよりも最高経営責任者の方が適任である。
2. ニュースリリースのライターや顧客サービス担当者に比べると、最高経営責任者がAIに取って代わられる可能性は低い。
3. AIは、企業におけるあらゆる問題に対する解決策として誇大に宣伝され、シリコンバレーでは、生成AIに多額の投資が行われた。
4. AIが企業にもたらす変化をみると、戦略的レベルの高い経営層における変化の方が、低い経営層における変化より小さいことが分かった。
5. 最高経営責任者と現場の監督者を対象に行われた調査では、幹部の役割をAIに置き換えることに抵抗を感じるとの回答は3割を下回った。

【No. 9】 次の  と  の文の間のア～オを並べ替えて続けると、意味の通った文章になる。その順序として最も妥当なのはどれか。

Tokyo police are intensifying their efforts against a series of scams where fraudsters falsely claim that old banknotes will become invalid due to the issuance of new currency notes for the first time in 20 years.

ア：The scam typically begins with a phone call from someone posing as a local government official, informing the victim about a medical expense refund.

イ：Four such cases have already been reported in the capital by Monday. A senior Metropolitan Police Department official warned, “This is a malicious fraud taking advantage of changes in the currency system. Please be cautious.”

ウ：“Bank employees will never come to your home to exchange money,” a senior police official stressed. “These types of stories are all scams.”

エ：Since March, four individuals in their 80s and 90s have been swindled out of a combined total of approximately ¥15 million (\$92,800), according to police reports.

オ：The conversation then shifts to the new banknotes. Eventually, a man claiming to be a bank employee takes over the call, asking for bank details and asserting that old notes will soon be obsolete, urging the victim to exchange them for new ones. The fraudster then visits the victim’s home to collect the cash and disappears.

The Bank of Japan also emphasized, “Old banknotes will remain valid even after the new ones are issued. Please be wary of false claims that old notes will become unusable.”

1. ア→ウ→オ→イ→エ
2. ア→エ→ウ→イ→オ
3. イ→エ→ア→オ→ウ
4. イ→オ→ウ→エ→ア
5. ウ→エ→オ→ア→イ

【No. 10】 次の文の  に当てはまるものとして最も妥当なのはどれか。

Aging is inevitable, but that doesn't stop us from trying to slow it down. And the easier the intervention, the better. In a study published in the *American Journal of Clinical Nutrition*, researchers report that taking a multivitamin that you can buy at the pharmacy .

The trial is part of a series led by scientists at Mass General Brigham that compared people 60 years or older taking Centrum Silver\* to those taking a placebo. It was funded by the National Institutes of Health and Mars Edge — a branch of the food company Mars, Inc. — and Haleon, the maker of Centrum, donated the vitamins. None of the sponsors or funders were involved in the design of the study or analysis of the results.

Two previous studies in the series had evaluated the participants over two to three years via phone or web interviews, and those results revealed that people taking a multivitamin daily scored higher on cognitive tests than those taking the placebo. In this latest study, which involved 573 people who were tested in person by the research team, the scientists saw the same benefit. Taken together, all three studies, which involved more than 5,000 volunteers, show that people taking a daily multivitamin for up to three years slowed cognitive brain aging by two years.

(注) \* Centrum Silver : マルチビタミンサプリメントの名称

1. can rejuvenate the brain by three years
2. can slow cognitive decline associated with aging by as much as two years
3. can stop the progress of cognitive decline associated with aging
4. may accelerate memory loss associated with aging
5. may diminish memory function within three years

【No. 11】 ある大学の学生について、次のことが分かっているとき、論理的に確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

- スニーカーを履いている人は、リュックサックを使用している。
- 電車で通学している人は、リュックサック又はトートバッグを使用している。
- トートバッグを使用している人は、スニーカーを履いていない。

1. リュックサックとトートバッグの両方を使用している人は、スニーカーを履いていない。
2. リュックサックを使用している人は、電車で通学している。
3. 電車で通学している人は、スニーカーを履いている。
4. 電車で通学していない人は、スニーカーを履いていない。
5. トートバッグを使用していない人は、スニーカーを履いていない。

【No. 12】 日本を出国する訪日外国人 100 人を対象に、日本滞在中の訪問先についての調査を行った。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- 広島県に行かなかった人は 80 人だった。
- 京都府に行った人は 63 人だった。
- 広島県に行き、かつ、京都府に行かなかった人は 7 人で、そのうち 2 人は北海道に行った。
- 京都府に行き、かつ、北海道に行った人は 11 人だった。
- 広島県にも京都府にも行かなかった人のうち、北海道に行った人は 12 人だった。
- 広島県にも北海道にも行かなかった人のうち、京都府に行った人は 42 人だった。

1. 広島県、京都府、北海道の 3 道府県全てに行った人は 7 人だった。
2. 広島県に行かず、かつ、北海道に行った人は 18 人だった。
3. 広島県に行き、かつ、北海道に行かなかった人は 15 人だった。
4. 京都府に行かず、かつ、北海道に行った人は 16 人だった。
5. 北海道に行った人は 27 人だった。

【No. 13】 ボタンが5個付いている機械がある。各ボタンはそれぞれ、ONになっているときに押すとOFFに、OFFになっているときに押すとONに変わる。いま、この5個のボタン全てがOFFの状態から、次の操作Aを1回行った後、操作Bを4回行った。

操作A：5個のボタンのいずれか1個を押す。

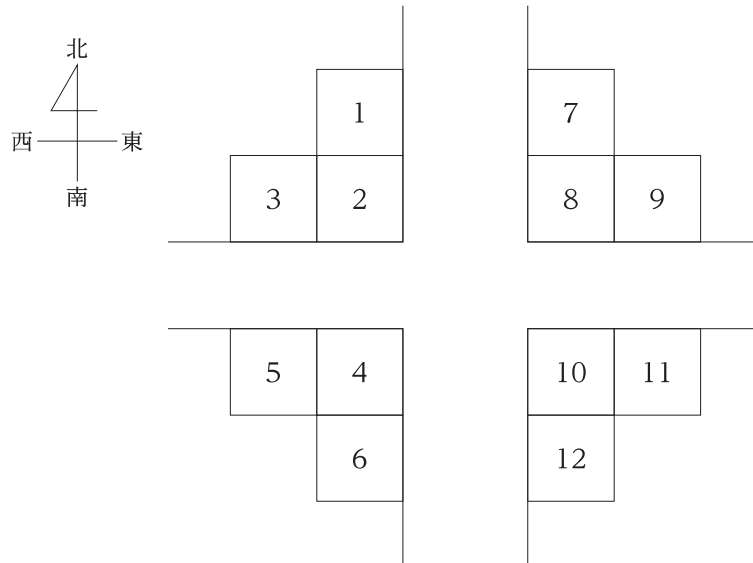
操作B：1回前の操作で押したボタン以外のいずれか2個のボタンを同時に押す。

このとき、5個のボタンのうち、ONになっているボタンの数としてあり得るもののみを全て挙げているのはどれか。

1. 1個、3個
2. 1個、3個、5個
3. 2個、3個、5個
4. 2個、4個
5. 3個、5個

【No. 14】 図のように、東西、南北に延びる道路が十字形に交差しており、各道路沿いに1～12の12軒の建物がある。このうち6軒は店で、喫茶店、寿司店、書店、生花店、文具店、和菓子店が1店ずつあり、A～Fの6人がそれぞれ、これらのいずれか1店を営んでいる。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

なお、1の真向かいとは7のことをいい、4の真向かいとは2又は10のことをいい、4の隣とは5又は6のことをいう。



- Aの店の真向かいの建物の西隣に文具店がある。
- Bの店は、Aの店の隣で、東側のみ道路に面しており、Bの店の真向かいの建物の南隣に寿司店がある。
- 書店と文具店は隣どうしであり、書店の真向かいにDの店がある。
- Cの店は、喫茶店の南隣の建物の真向かいで、東側は道路に面している。
- 和菓子店は、Eの店の真向かいで、東側は道路に面している。

1. Aの店は4で、生花店である。
2. Bの店は6で、書店である。
3. Dの店は10で、和菓子店である。
4. Eの店は8で、寿司店である。
5. Fの店は7で、喫茶店である。

【No. 15】 ある会社に、X市、Y市、Z市のいずれかに住んでいるA～Fの6人が勤務しており、この6人の2020年度から2023年度までの総務課における在籍状況等について、次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

ただし、人事異動は年度の初日に行われ、年度途中の人事異動はないものとする。さらに、2020年度から2023年度まで、総務課から他の部署に異動した者で、再度、総務課へ異動してきた者はいなかった。また、転居した者もいなかった。

- A～Fについて、X市に住んでいる者、Y市に住んでいる者、Z市に住んでいる者はそれぞれ2人ずつおり、そのうちX市に住んでいる者はDとFである。
- A～Fについて、2年間だけ在籍していた者は4人、3年間だけ在籍していた者は2人おり、そのうち3年間だけ在籍していた者はZ市に住んでいる者とFだった。
- A～Fのうち、2020年度に在籍していた者は2人おり、X市に住んでいる者とZ市に住んでいる者だった。
- Aは2021年度と2022年度の2年間だけ在籍していた。
- BはZ市に住んでおり、2022年度に在籍していた。
- Cが他の部署に異動した年度にDが総務課に異動してきた。

1. AがEと同期間に在籍していたのは1年間だけだった。
2. Bは2年間だけ在籍していた。
3. CはY市に住んでいる。
4. 2022年度に在籍していたのは5人だった。
5. 2023年度にはY市に住んでいる者が在籍していた。

【No. 16】 A～Eの5人の審査員が、ア～カの6種類の菓子に対して評価を行い、それぞれの菓子に対して同順位とならないように順位を決めて得点を付けた。順位とそれに対応する得点は次のとおりである。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
得点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

この結果を集計し、5人の審査員が付けた得点の合計得点が高いものから順に、総合順位を1位、2位、・・・、6位と付けた。

しかし、評価が分かれた菓子があったので、得点方法の確認を行ったところ、1位：1点、2位：2点、・・・、6位：6点と、誤って得点を逆に付けている審査員がいることが分かった。そこで、誤った得点を付けた審査員に、評価した菓子の順位は変更せずに、正しい方法で付け直した得点に修正してもらい、再度集計した。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- 得点を逆に付けていた審査員は2人で、そのうちの1人はCであった。
- Aと同じ得点を付けた菓子があった審査員は、修正前の集計ではBだけで、修正後の集計ではCだけであった。
- BとDが付けた菓子イの得点は、修正前の集計では異なっていたが、修正後の集計では同じだった。
- 修正後の集計における、総合順位・菓子・合計得点とEが付けた得点は、次のとおりである。

総合順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
菓子	ウ	カ	ア	エ	イ	オ
合計得点	28点	26点	19点	17点	9点	6点
Eが付けた得点	6点	4点	5点	3点	2点	1点

1. 修正前の集計で、BとCの付けた得点が同じだった菓子は、イとエの2種類であった。
2. 修正前の集計で、総合順位が1位であった菓子はカであり、その合計得点は22点であった。
3. 修正前の集計で、A～Eがそれぞれ3点を付けた菓子は、エ、カの2種類のいずれかであった。
4. 修正後の集計で、総合順位とDの決めた順位が同じだった菓子は、3種類であった。
5. CとEの付けた得点が同じだった菓子は、修正前の集計では1種類で、修正後の集計では2種類であった。

【No. 17】 図 I のような、一辺の長さが 1 である立方体を積み上げた立体に、同じ立方体から成る図 II の A ~ D の立体を組み合わせて、一辺の長さが 3 である立方体を完成させたい。このとき、必要な立体の組合せとして正しいのはどれか。

図 I

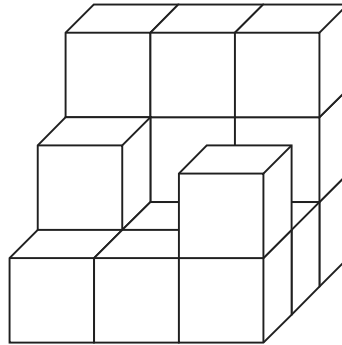
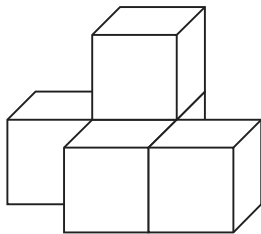
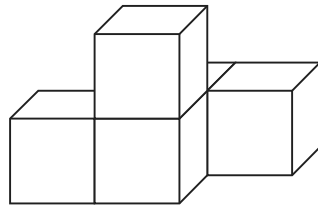


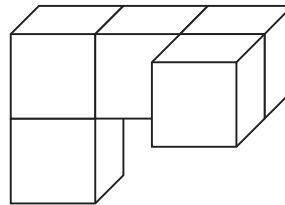
図 II



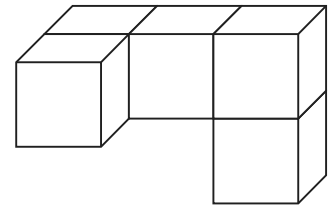
A



B



C



D

1. A、C
2. A、D
3. B、C
4. B、D
5. C、D

【No. 18】 A～Jの10人の職員に対する面談を、次のような2回の休憩を含む3部構成で実施することになった。



この10人の面談を次のような順番で行うとき、その組合せは何通りか。

- A、B、Cの3人は、第1部又は第3部のいずれかの部でまとめて行う。
- AとDはいずれかの部の最初に行い、かつ、Fはいずれかの部の最後に行う。
- EはDよりも先に行い、かつ、EとDの間には休憩と2人の面談が入る。
- GとHの間には1人以上の面談が入る。

1. 144通り
2. 156通り
3. 168通り
4. 180通り
5. 192通り

【No. 19】 ある川の上流のX地点から下流のY地点までの距離は7,200 mである。船Aは、Y地点を出発してX地点に向かったところ、船AがY地点を出発する10分前にY地点を出発してX地点に向かっていた船Bと同時にX地点に到着した。船Aの静水時の速さは川の流れの速さの4倍であるが、川岸にいた人がY地点からX地点へ航行中の船A、Bを見ていたところ、船Aの速さは船Bの速さの $\frac{3}{2}$ 倍であるように見えた。このとき、川の流れの速さはいくらか。

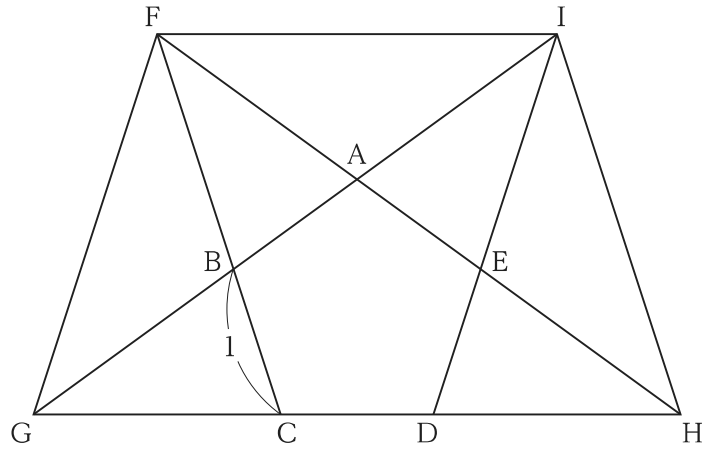
ただし、航行中の船A、Bの速さ及び川の流れの速さはそれぞれ一定であるものとする。

1. 84 m/分
2. 120 m/分
3. 156 m/分
4. 192 m/分
5. 228 m/分

【No. 20】 等式  $xy - 6x + 4y = 129$  を満たす二つの正の整数  $x$  と  $y$  の組合せは何通りか。

1. 3通り
2. 6通り
3. 9通り
4. 10通り
5. 12通り

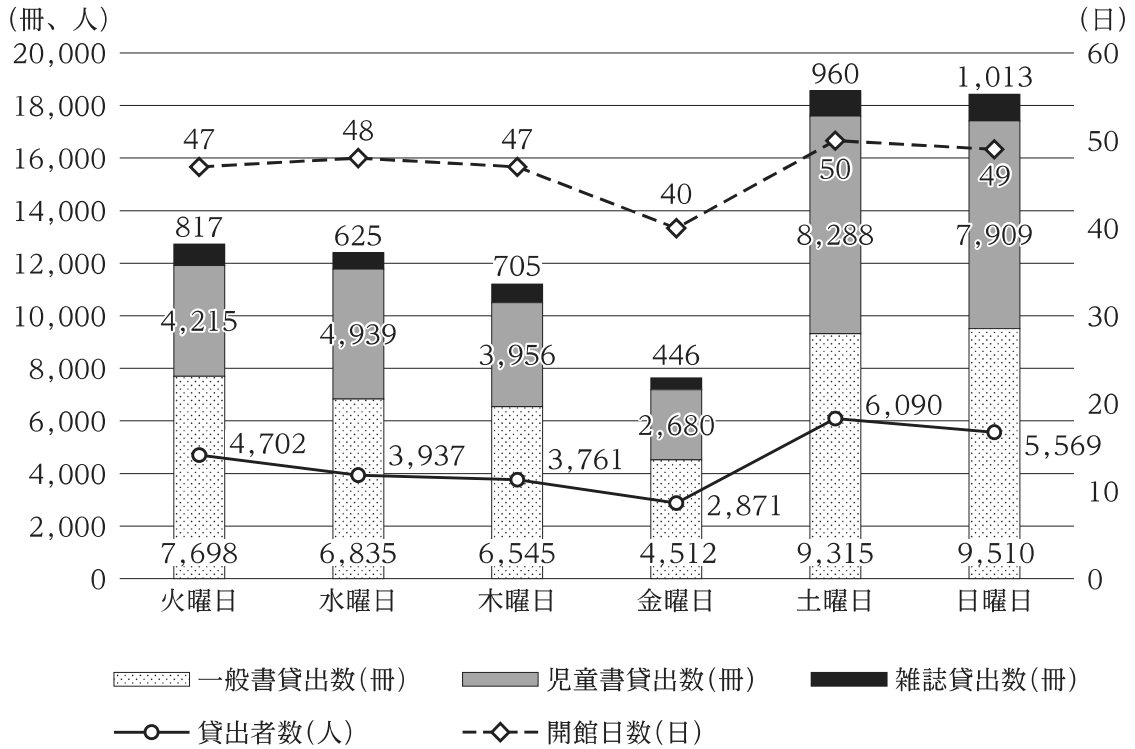
【No. 21】 図のような、一辺の長さが1の正五角形 ABCDE の各辺を延長して交点を結び、四角形 FGHI をつくった。このとき、FH の長さはいくらか。



1.  $\frac{1}{2}(3 - \sqrt{5})$
2.  $\sqrt{5}$
3.  $\frac{1}{2}(3 + \sqrt{5})$
4.  $1 + \sqrt{5}$
5.  $2 + \sqrt{5}$

【No. 22】 図は、ある図書館における年間利用状況などを曜日別に示したものである。これから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

なお、この図書館は月曜日が休館日である。



1. 火曜日から日曜日までの開館日数の平均は、47日を上回る。
2. 火曜日から日曜日までの一般書、児童書、雑誌の合計貸出数の平均は、15,000冊を上回る。
3. 合計貸出数に占める一般書貸出数の割合が50%を下回る曜日は、一つのみである。
4. 開館日1日当たりの貸出者数が最も少ない曜日は、木曜日である。
5. 貸出者1人当たりの貸出数が3冊を上回る曜日は、三つある。

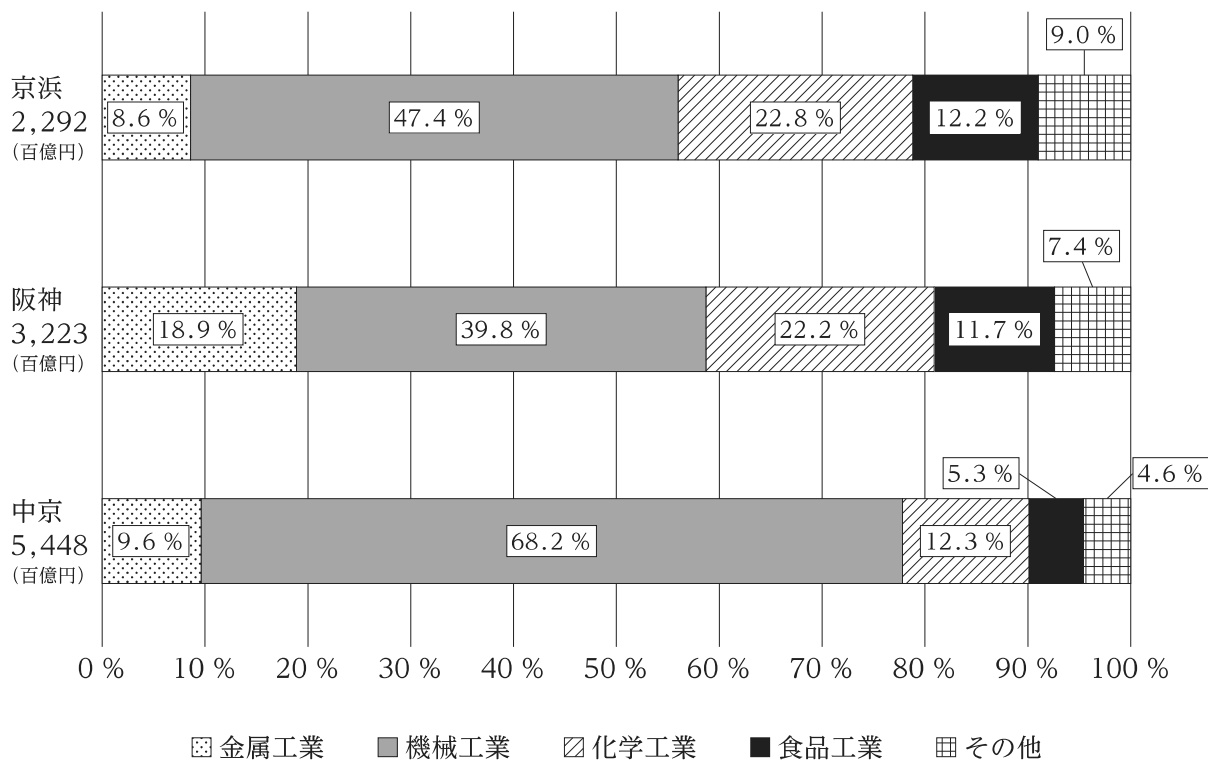
【No. 23】 表は、ある地域の平成 30～令和 4 年度におけるタクシーの営業状況について、法人タクシー及び個人タクシーの別に、届出(認可)自動車台数、総走行キロ数、乗車人員、輸送収入を示したものである。これから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

年 度	法人タクシー				個人タクシー			
	届出(認可)自動車台数	総走行キロ数(千 km)	乗車人員(千人)	輸送収入(百万円)	届出(認可)自動車台数	総走行キロ数(千 km)	乗車人員(千人)	輸送収入(百万円)
平成 30	4,672	257,502	42,298	48,820	1,296	38,293	3,885	6,224
令和元	4,699	254,623	39,820	47,634	1,244	44,670	3,661	5,995
令和 2	4,689	164,260	25,440	32,399	1,216	26,131	2,345	3,559
令和 3	4,413	174,245	28,468	34,982	1,202	25,571	2,339	3,454
令和 4	4,495	195,452	32,784	42,343	1,147	33,980	3,004	4,951

1. 平成 30 年度の乗車人員 1 人当たりの走行キロ数は、法人タクシー、個人タクシーのいずれも 8 km を超えている。
2. 令和 2 年度の法人タクシーの総走行キロ数と乗車人員について、それぞれ前年度のそれらと比べると、いずれも前年度の 60 % 以下である。
3. 届出(認可)自動車 1 台当たりの輸送収入についてみると、令和 3、4 年度のいずれの年度においても、個人タクシーは法人タクシーの 50 % 以下である。
4. 令和 3 年度の届出(認可)自動車 1 台当たりの走行キロ数についてみると、法人タクシーは個人タクシーの 2 倍を超えている。
5. 令和 4 年度の個人タクシーの乗車人員と輸送収入について、それぞれ前年度からの増加率を比べると、乗車人員のそれの方が大きい。

【No. 24】 図は、我が国の主な工業地帯における出荷額とその構成を示したものであり、表は、我が国の主な工業地帯・工業地域における全国出荷額に占める割合を五つの工業種別に示したものである。これらから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

我が国の主な工業地帯における出荷額とその構成(2020年)



我が国の主な工業地帯・工業地域における全国出荷額に占める割合(2020年)

		金属工業	機械工業	化学工業	食品工業	その他
工業地帯	京 浜	5.0%	8.0%	8.4%	7.2%	8.2%
	阪 神	15.4%	9.4%	11.4%	9.7%	9.7%
	中 京	13.2%	27.3%	10.7%	7.5%	10.0%
工業地域	関東内陸	8.7%	8.9%	9.6%	12.6%	9.9%
	京 葉	6.2%	1.0%	8.4%	5.1%	3.2%
	東 海	3.2%	6.0%	6.0%	5.8%	3.9%
	瀬戸内	12.8%	7.1%	13.1%	6.2%	9.2%
	北九州	3.7%	2.9%	1.9%	3.9%	3.2%
小 計	68.2%	70.6%	69.5%	58.0%	57.3%	
全 国 合 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

1. 北九州工業地域において、機械工業の出荷額は、化学工業の出荷額を上回っている。
2. 工業種別にみると、いずれの工業種においても、表中の三つの工業地帯の出荷額の合計は、表中の五つの工業地域の出荷額の合計を上回っている。
3. 金属工業の出荷額の全国合計は、30兆円を下回っている。
4. 中京工業地帯の機械工業の出荷額は、京浜工業地帯と阪神工業地帯の機械工業の出荷額の合計よりも25兆円以上、上回っている。
5. 関東内陸工業地域の中で、最も出荷額が大きい工業種は食品工業である。

【No. 25】 健康・医療などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 2024年3月、米国において、遺伝子を改変したブタの膵臓を治療目的で患者へ移植する手術が世界で初めて行われ、日本人医師が執刀した。同年末時点で、我が国では、臓器移植法により、脳死下の臓器提供が可能な年齢は、18歳以上、54歳以下とされている。そのため、小さな臓器が必要な体の小さな子どもへの臓器移植ができないことが課題となっている。なお、同法により、ヒト以外の動物の臓器をヒトへ移植することは禁止されている。
2. 全国的に高温となった2024年7月の我が国では、熱中症への警戒が呼びかけられ、観測史上、7月として最も高い月平均気温を記録した。猛暑の原因は、2023年春から続いているエルニーニョ現象であると考えられている。エルニーニョ現象はインド洋の赤道付近で海面水温が高くなることをいい、これによって、夏季には太平洋高気圧の勢力が強まり、冬季には冬型の気圧配置が強まるため、我が国では猛暑と厳冬になる傾向がある。
3. 2024年9月、厚生労働省はアルツハイマー病の治療薬ドナネマブの国内での製造・販売を承認した。アルツハイマー病は認知症の原因となる疾患の一つであり、記憶などの精神活動の中核である間脳の働きの低下がみられる。アルツハイマー病は異常なホルモンが脳内に蓄積することで神経細胞が壊れ発症すると考えられており、ドナネマブは、重度の認知症の患者を対象に、このホルモンを除去する効果がある薬として承認された国内初の例である。
4. 2024年は、子どもを中心に流行する手足口病の患者数が全国的に多い状況が続いた。手足口病は、感染すると口の中や手足に発疹が出るウイルス性の感染症で、主に夏に流行するが、同年は7月だけでなく10月にも流行がみられた。ヒトの体内に侵入したウイルスなどの異物は、白血球の一種である食細胞により排除される。白血球の中には、ウイルスに感染した細胞が持つ特徴を認識して、その細胞を直接攻撃し、排除する働きを持つものもある。
5. 2024年11月、環境省と国土交通省の調査の結果、同年に実施された水質調査において、全国1,000か所以上の水道水で有機フッ素化合物(PFAS)の一部の物質が国の暫定目標値を超えて検出されたことが明らかとなった。PFASは約100種類あるとされる有機フッ素化合物の総称であり、環境中で分解されにくい物質である。フッ素は価電子の数が少なく、価電子を失って陽イオンになりやすい特徴を持ち、ハロゲンに分類される。

【No. 26】 近年の世界の政治状況などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 2023年11月、アルゼンチンで大統領選挙が行われ、ミレイ氏が当選した。アルゼンチンでは、同月時点で中央銀行が存在せず、米国のドルが法定通貨とされていたが、同氏は、選挙の際の公約に、新しく中央銀行を設立し、アルゼンチン独自の通貨を導入することを掲げた。なお、我が国では、日本銀行が、中央銀行として景気安定化のために所得税の税率を決定するなどの裁量的財政政策を実施している。
2. 2024年2月、インドネシアで大統領選挙が行われ、プラボウォ氏が当選した。選挙期間中、故スハルト元大統領の選挙動画がジオタグとして拡散したため、期間の途中からインターネットを使用した選挙活動が禁止された。ジオタグとは、報道機関が十分に事実確認を行わずに発信した、事実と異なる情報のことをいい、その防止策としては、報道機関の取材体制を第三者が評価するファクトチェックの実施が挙げられる。
3. 2024年3月、ロシアで大統領選挙が行われ、現職のプーチン氏が当選した。しかし、長期化するウクライナ侵攻の影響で景気が悪化していることを受け、プーチン氏の得票率は、ロシアの大統領選挙の当選者としては過去最低となった。ロシアでは、第一次世界大戦中にボリシェヴィキによる武装蜂起が起こり、その結果、スターリンを初代首相とする史上初の社会主義政権が成立した。
4. 2024年4月から6月にかけて、インドで議会下院の総選挙が行われ、与党が議席を大幅に増やした。また、同時に行われた大統領選挙では、与党党首で現職のモディ氏が当選した。なお、インドでは、19世紀半ば、英国による植民地化が進んでいたが、インド人傭兵(シパーヒー)が中心となり、ムガル皇帝や藩王国の支配者に対する大反乱を起こした。この大反乱は英国の支援を得たムガル皇帝によって鎮圧され、その結果、インドにおける英国の支配力は更に強まった。
5. 2024年7月、英国で議会下院の総選挙が行われ、労働党が過半数の議席を獲得し、保守党から労働党への政権交代が決まった。新政権では、同党のスターマー氏が首相に就任した。英国では、18世紀に、内閣が国王ではなく議会に対して責任を負う責任内閣制が成立し、19世紀には、自由党と保守党が交互に政権を担当する議会政治が行われた。その後、20世紀前半に、自由党に代わって労働党が保守党と対抗する政党となった。

【No. 27】 我が国における社会の動きなどに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 令和5(2023)年12月、宗教法人への多額な献金による被害者救済のための法律が成立した。この法律の施行により、救済原資となる財産の流出を防ぐため、裁判所は、宗教法人法に基づく解散命令が請求された宗教法人に対し、同命令の確定前に財産保全を命じることが可能となった。日本国憲法が保障する信教の自由は、自由権のうち人身の自由に含まれ、公共の福祉の観点から一定の制約があることが明文で定められている。
2. 令和6(2024)年4月、相続した不動産について、その取得を知った日から1年以内に相続登記の申請をすることが義務化された。これは、所有者の分からない土地が増え、その活用が妨げられていることなどに伴う措置であるが、同月より前に相続した不動産については対象とならない。故人が残した不動産を含む財産は、親族などの相続人に引き継がれるが、家族間に争いが生じたときは、簡易裁判所で調停、審判、裁判などが行われる。
3. 令和6(2024)年6月、外国人材の育成と確保を目的とした育成就労制度を創設する出入国管理法などの改正法が成立した。現行の技能実習制度では原則禁止されている転籍(転職)について、育成就労制度では、自由に認められることとなった。我が国の歴史を遡れば、5世紀には、朝鮮や中国から迎え入れた多くの渡来人により、青銅製の武器や農具、土師器と呼ばれる硬質の陶器、機織などの新しい技術が我が国に伝えられた。
4. 旧優生保護法下で不妊手術を強制されたのは憲法違反だとして、被害者らが国に損害賠償を求めた訴訟で、令和6(2024)年7月、最高裁は、同法の規定を違憲と判断し、国に賠償を命じた。これを受け、同年9月、国と原告側が係争中の訴訟の和解合意書に調印した。同法が成立した昭和20年代前半の国民生活は、敗戦後の著しい物不足や激しいインフレーションの急進展、深刻な食糧難などで困難を極め、都市の人々は農村への買出しや闇市などで飢えをしのいだ。
5. 令和6(2024)年10月、利用数の減少や物流コストの上昇を理由に、郵便料金の値上げが行われた。これにより、はがきは90円に、定形郵便物(封書)は120円になった。定形郵便物(封書)の料金の値上げは、消費税率の引上げに伴う場合を除くと、50年ぶりであった。郵便制度は、明治初期に、それまでの飛脚制度に代わる西洋式の官営制度として、福沢諭吉の建議により発足した。

【No. 28】 太平洋の島々とそれらをめぐる最近の動きなどに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 2024年1月、台湾総統選挙が行われ、国民党の頼清徳氏が民進党の候補らを破り、初当選した。台湾の独立を公約に掲げて当選した頼氏に反発し、中国は、同年5月の頼氏の総統就任式に合わせて、台湾の離島の金門島や海南島沿岸の水域で大規模な軍事演習を行った。金門島と海南島は、日清戦争での日清講和条約(下関条約)により台湾と共に清から日本に割譲された中国本土に近接する島であり、第二次世界大戦終了時まで日本領であった。
2. ミクロネシアに位置するフランス領のタヒチ島では、2024年5月、フランスからの独立を目指す勢力のデモをきっかけに暴動が起こり、全島に非常事態宣言が発せられた。一方、ポリネシアに位置するフランス領のニューカレドニア島は、レアメタルであるプラチナの世界的な産地であるとともに海洋レジャーが盛んな世界的な観光地として知られており、同年7月に開催されたパリオリンピックのサーフィンの競技会場となった。
3. 2024年7月、ロシア副首相らが北方領土の択捉島を訪問した。同年5月にプーチン大統領が通算5期目の任期に入って以来、ロシアの閣僚が北方領土を訪れるのは初めてであり、我が国はロシアに対して、副首相らの訪問は日本政府の立場に反するもので受け入れられないと抗議した。我が国は、19世紀半ばに締結した日露和親条約以来、北方領土は歴史的に日本固有の領土であり、サンフランシスコ平和条約で放棄した千島列島に北方領土は含まれない、としている。
4. 2024年7月、太平洋・島サミット(PALM)が我が国で開催され、気候変動や安全保障などの分野での相互協力を柱とする首脳宣言が採択された。PALMは、1970年代に英国が行ったムルロア環礁での原爆実験で、日本漁船が被爆した第五福竜丸事件を契機に、太平洋地域が関わる課題を議論する場として設置された。PALMの参加国には、第一次世界大戦後に我が国の国際連盟委任統治領となった南洋諸島のパラオ、フィジー、トンガなどが含まれている。
5. 2024年8月、ハワイのマウイ島における山火事の発生から1年を迎え、市街地の復興がほぼ完了し、犠牲者追悼の慰霊が行われた。山火事の原因は火山噴火による自然発火で、乾燥と強風で急速に全島に燃え広がり、市街地も大きな被害を受けた。ハワイ諸島周辺は、太平洋プレートとナスカプレートの二つのプレートの広がる境界に位置し、海底に東太平洋海嶺を形成しており、マウイ島は海嶺上にできた火山島の一つである。

【No. 29】 最近のスポーツや文化などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 2024年、フランスのパリで、夏季大会としては初めてのオリンピックが開催された。本大会では、パリ市内や近郊にある世界有数の観光名所や歴史的建造物などが競技会場となり、会場の一つとなったヴェルサイユ宮殿は、ロココ様式の代表的な宮殿で、世界遺産である。フランスは、同年4月時点で世界遺産の登録数が100を超えており、中国に次いで2番目に多い。
2. 2024年のパリパラリンピックでは、史上最多の国・地域と難民選手団が参加し、我が国の金メダル獲得数は世界第3位だった。祖国を離れた選手たちで構成される難民選手団は、前回の東京パラリンピックに引き続き、金メダルを獲得するなど活躍した。2010年代に発生し、多数の難民を生んだシリア内戦を契機に、難民の地位に関する条約において国内避難民を難民として認めるようになり、世界の難民の数は2023年末時点で2億人を超えている。
3. 2024年9月、米国の優れたテレビ番組などに贈られるトニー賞授賞式がカリフォルニア州ロサンゼルスで行われ、我が国の俳優がプロデュースと主演を務めた「SHOGUN 将軍」がドラマ部門の作品賞ほか合わせて18の賞を受賞した。我が国において、8世紀に蝦夷征討のために設けられた征夷大將軍は、その後、12世紀に源頼朝が任命されて以来、武家の棟梁の意味となった。征夷大將軍としては、源頼朝のほか、北条義時、織田信長、徳川家康が挙げられる。
4. 2024年に開催された国連教育科学文化機関(UNESCO)の世界遺産委員会で、新潟県の「佐渡島の金山」が世界複合遺産として登録されることが決まった。佐渡金山は、徳川幕府により開発され、18世紀後半に最盛期を迎えた後、明治政府に引き継がれたが、経営の悪化により住友に払い下げられ、明治末期に閉山した。佐渡は、世界自然遺産として既に登録されている沖ノ島と共に国の特別記念物であるトキの生息地として知られている。
5. 2024年、富士山では、夜通しで山頂を目指すいわゆる「弾丸登山」や混雑を防ぐため、山梨県側の登山ルートにゲートを設け、通行規制や通行料の徴収を開始した。富士山は、2013年の世界文化遺産登録決定時にUNESCOから、人の多さや環境負荷の大きさ、人工的景観が目立つことを課題として指摘されており、その解消が求められている。富士山は、山岳信仰が盛んだ江戸時代には、「講」が組織され、集団での登山が行われていた。

【No. 30】 次は、コンピュータにおける小数の処理に関する記述であるが、A、B、Cに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

コンピュータの内部では、0と1の2種類の数字を用いる2進法で数値を表現している。そのため、コンピュータで小数を扱う際は、原理的に誤差を含む可能性があることに注意する必要がある。例えば、10進法の0.5は $1 \times 2^{-1}$ であるから2進法で0.1と正確に表現でき、10進法の0.25は $0 \times 2^{-1} + 1 \times 2^{-2}$ であるから2進法で  と正確に表現できる。一方で、10進法の0.1は、2進法だと0.000110011001...と無限に続く小数となり、コンピュータは無限の桁数を扱うことはできないため、有限桁の小数で近似して扱うこととなる。10進法で表された次の2個の小数について考えると、0.05は2進法で有限桁で正確に  小数であり、0.875は2進法で有限桁で正確に  小数である。

	A	B	C
1.	0.01	表現できる	表現できない
2.	0.01	表現できない	表現できる
3.	0.11	表現できる	表現できる
4.	0.11	表現できる	表現できない
5.	0.11	表現できない	表現できる

## <出典>

・No.1

佐藤直樹、「コロナ禍と気候変動問題から考える 科学×技術×社会」、ミネルヴァ書房

・No.2

小田切徳美、「農山村は消滅しない」、岩波書店

・No.3

松浦寿輝、「官能の哲学」、筑摩書房

・No.4

田中克彦、「ことばと国家」、岩波書店

・No.7

Oldest wine ever discovered in liquid form found in urn with Roman remains by Sam Jones.  
Copyright Guardian News & Media Ltd 2025.

・No.8

If A.I. Can Do Your Job, Maybe It Can Also Replace Your C.E.O. by David Streitfeld. © The New York Times Company.

・No.9

Tokyo police warn of fraud linked to new banknotes. Reproduced with permission of The Japan Times (2024, July,3) (JIJI)

・No.10

Multivitamins Are Linked to Slower Brain Aging by Alice Park. From TIME. © 2014 TIME USA LLC.. All rights reserved. Used under license.

<https://time.com/6564179/multivitamins-slow-brain-aging/>

C1C2-2025 基礎能力

正答番号表

No	正答	No	正答
1	2	21	5
2	4	22	5
3	3	23	3
4	1	24	1
5	3	25	4
6	5	26	5
7	4	27	4
8	3	28	3
9	3	29	5
10	2	30	2
11	1		
12	3		
13	1		
14	4		
15	4		
16	5		
17	2		
18	1		
19	2		
20	2		